



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL https://www.ckd.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 国保 雅文 (TEL) 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,265	△24.4	284	△89.8	301	△89.4	216	△89.9
2019年3月期第1四半期	30,783	20.8	2,781	2.7	2,838	3.4	2,156	8.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △723百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 1,483百万円(△39.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第1四半期	円 銭 3.50	円 銭 —
2019年3月期第1四半期	34.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第1四半期	百万円 134,270	百万円 79,219	% 58.9
2019年3月期	136,961	80,444	58.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 79,085百万円 2019年3月期 80,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,800	△22.6	280	△90.6	300	△90.0	210	△90.6	3.39
通期	96,500	△16.6	930	△82.9	950	△82.5	660	△86.2	10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	68,909,449株	2019年3月期	68,909,449株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,989,221株	2019年3月期	6,989,136株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	61,920,249株	2019年3月期1Q	61,915,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が持続しているものの、その伸びは鈍化いたしました。企業収益は中国向け輸出低迷などから製造業で下振れ、合理化・省力化への設備投資も先送りの動きがみられました。

また、海外経済は、米中両国の関税引き上げによる影響から、米国では中国向け輸出は減少しましたが、雇用・所得環境が消費を下支えし、内需は堅調に推移いたしました。一方、中国では米国向け輸出の減少により、旺盛だった設備投資も冷え込みつつあります。また、欧州では外需の減速による製造業の低迷が続きました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高23,265百万円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益284百万円（前年同四半期比89.8%減）、経常利益301百万円（前年同四半期比89.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益216百万円（前年同四半期比89.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、リチウムイオン電池製造システムの売上高が増加いたしました。また、自動包装システムでは、薬品及び食品向けの売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は2,793百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は収益性改善により308百万円（前年同四半期は127百万円のセグメント損失）となりました。

② 機器部門

国内市場では、設備投資縮小の影響を受けた半導体製造装置向け売上高、中国経済減速の影響を受けた工作機械向けの売上高が、それぞれ大きく減少いたしました。

海外市場も国内同様に、半導体設備投資の遅延に加え、中国の自動化投資が鈍化した影響を受け、売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は20,471百万円（前年同四半期比27.7%減）、セグメント利益は売上高減少の影響などにより、1,040百万円（前年同四半期比75.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,691百万円減少の134,270百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、売上債権及びたな卸資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,466百万円減少の55,050百万円となりました。これは主に、未払賞与が増加したものの、仕入債務、賞与引当金及び長期借入金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,225百万円減少の79,219百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加の58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、米中貿易摩擦及び半導体設備投資の遅延などの影響により、機器部門の売上高が期初予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましても、経費削減に努めたものの、売上高の減少に加え、それに伴う工場稼働率の低下や固定費の割合が増加したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が期初予想を下回る見込みとなりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの見込みに加え、対韓国輸出優遇の見直しなどの影響が懸念されることから、期初に想定していた需要回復時期が遅れる見通しであり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が期初予想を下回る見込みとなりました。

以上の状況を踏まえ、2019年5月15日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び、通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、2019年7月1日から2020年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル105円を前提としております。

2020年3月期 第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 50,000	百万円 1,400	百万円 1,400	百万円 1,000
今回修正予想 (B)	46,800	280	300	210
増減額 (B - A)	△3,200	△1,120	△1,100	△790
増減率 (%)	△6.4	△80.0	△78.6	△79.0
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	60,455	2,979	2,988	2,235

2020年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 106,000	百万円 5,700	百万円 5,700	百万円 4,000
今回修正予想 (B)	96,500	930	950	660
増減額 (B - A)	△9,500	△4,770	△4,750	△3,340
増減率 (%)	△9.0	△83.7	△83.3	△83.5
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	115,665	5,429	5,425	4,793

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する項目は、本日(2019年8月6日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,463	14,638
受取手形及び売掛金	22,958	21,639
電子記録債権	4,933	4,266
営業未収入金	242	223
商品及び製品	10,020	8,989
仕掛品	4,170	5,545
原材料及び貯蔵品	25,678	24,386
その他	3,009	1,389
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	83,447	81,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,799	20,586
その他(純額)	21,845	22,150
有形固定資産合計	42,644	42,737
無形固定資産	2,376	2,194
投資その他の資産	8,492	8,285
固定資産合計	53,513	53,217
資産合計	136,961	134,270
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,681	10,620
電子記録債務	2,326	1,992
短期借入金	11,789	11,995
1年内償還予定の社債	45	38
未払法人税等	582	358
賞与引当金	2,157	1,288
その他の引当金	580	479
その他	7,168	9,777
流動負債合計	37,332	36,551
固定負債		
社債	146	146
長期借入金	16,645	15,845
その他の引当金	89	89
退職給付に係る負債	408	413
その他	1,893	2,004
固定負債合計	19,183	18,498
負債合計	56,516	55,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,390	12,390
利益剰余金	59,119	58,835
自己株式	△4,905	△4,905
株主資本合計	77,619	77,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	1,826
為替換算調整勘定	1,427	717
退職給付に係る調整累計額	△858	△794
その他の包括利益累計額合計	2,686	1,749
非支配株主持分	138	133
純資産合計	80,444	79,219
負債純資産合計	136,961	134,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	30,783	23,265
売上原価	21,756	17,639
売上総利益	9,026	5,625
販売費及び一般管理費	6,245	5,341
営業利益	2,781	284
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	77	68
持分法による投資利益	—	0
その他	134	97
営業外収益合計	216	171
営業外費用		
支払利息	15	51
売上割引	43	36
持分法による投資損失	0	—
デリバティブ評価損	34	1
為替差損	44	41
その他	20	22
営業外費用合計	159	154
経常利益	2,838	301
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	20	—
補助金収入	100	—
特別利益合計	123	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	9	24
固定資産圧縮損	100	—
特別損失合計	110	24
税金等調整前四半期純利益	2,851	278
法人税、住民税及び事業税	1,230	268
法人税等調整額	△550	△209
法人税等合計	680	59
四半期純利益	2,171	219
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,156	216

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,171	219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△522	△290
為替換算調整勘定	△231	△716
退職給付に係る調整額	65	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△688	△943
四半期包括利益	1,483	△723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,469	△719
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上するとともに、無形固定資産に含めていた一部の資産について有形固定資産に振替を行っております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が456百万円、流動負債の「その他」が169百万円、固定負債の「その他」が155百万円それぞれ増加し、無形固定資産が138百万円減少しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,468	28,314	30,783	—	30,783
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19	19	△19	—
計	2,468	28,333	30,802	△19	30,783
セグメント利益又は損失(△)	△127	4,210	4,082	△1,301	2,781

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,301百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,309百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,793	20,471	23,265	—	23,265
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	46	46	△46	—
計	2,793	20,517	23,311	△46	23,265
セグメント利益	308	1,040	1,349	△1,065	284

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,065百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,072百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	2,256	△28.9
機器部門	19,514	△33.7
合計	21,771	△33.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	4,621	+11.0	14,221	+15.0

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	2,793	+13.2
機器部門	20,471	△27.7
合計	23,265	△24.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。